

第 43 回東京都理学療法学会 募集要項

はじめに

- 演題登録は、インターネットによるオンライン登録のみです。本学会ホームページ上および日本理学療法士協会の演題管理システムを利用して行います。
- 下記の募集要項を熟読した上で登録してください。
- 筆頭演者は認定・専門理学療法士更新に関わる「都道府県士会の学術大会での一般発表（指定演題含む）の筆頭演者」の履修対象となります。
- 演題登録に伴う各種電子メールでの連絡は、演題登録の際に確認がとれた電子メール宛てに送信されます。重要なお知らせを行う場合がありますので、定期的なメールチェックをお願いします。演題管理システムからの自動送信メールが迷惑メールと判断される場合がありますので、ご注意ください。本学術大会終了までは同一のメールアドレスの使用をお願いします。使用するメールアドレスを変更する場合は、ただちに登録メールアドレスを変更した旨を下記の「お問い合わせ」にご一報ください。

演題応募期間

2024年3月15日 ～ 5月15日 終日

(新人演題のみ：2024年5月1日 ～ 6月30日 終日)

締め切り直前はアクセスが集中し、登録に時間を要する、あるいは登録が完了できないといった事態が生じる可能性がありますので、時間に余裕をもって登録いただくようよろしくお願いいたします。

応募資格

筆頭演者は、公益社団法人東京都理学療法士協会の会員の方に限ります。

新人セッションに限り、東京都内の養成校を卒業した日本理学療法士協会会員の応募が可能です。

演題登録時に協会会員番号が必要になります。入会手続き中の方は、「000000」と入力してください。

応募演題・発表形式

口述発表（日本語）のみ 発表7分 質疑応答3分を予定しています。

- 一般演題
- フレッシュマン演題
- 新人演題

【フレッシュマンセッションについて】

本学会では、学会参加経験や発表経験が少ない方を対象に、自身の研究発表や症例報告に対して様々な意見交換や交流ができるよう、フレッシュマンセッションを設ける運びとなりました。このセッションは、座長や他医療機関、施設の参加者、研究者とディスカッションができる枠を、口述発表の後に設けることを想定しています。自身の発表に対する振り返り学びを深めるとともに、参加者同士の交流となることも期待しています。なお、フレッシュマンセッションの筆頭演者は、理学療法士免許取得後5年以内（経験年数1～5年目まで）、あるいは日本理学療法士協会登録理学療法士未修了の方を対象としています。フレッシュマンセッションへの演題登録を希望される方は、演題登録のカテゴリー選択の際に、「フレッシュマン演題」を選択してください。

【新人セッションについて】

2024年に理学療法士免許を取得した新人理学療法士を対象に、養成校卒前に実施した卒業研究や在学中の活動報告を発表することを想定したセッションです。養成校で行った研究や活動を参加者と共有し学びの場とするとともに、演者にとっても教育的かつ建設的な意見交換が行えるセッションとなることを期待しています。なお、新人セッションの筆頭演者は、本学術大会参加時に東京都理学療法士協会会員、または、東京都内の養成校を卒業した日本理学療法士協会会員であることが必要です。

演題応募上の注意

1. 筆頭演者としての応募は1人1演題に限ります。
2. 内容が類似した複数の演題および他学会や雑誌等に応募中あるいは発表済みの演題登録はできません。
3. 応募された演題と学会当日の発表内容が大幅に変わることが無いようにしてください。
4. 演題登録後、登録内容の確認や修正を行うための登録IDとパスワードが記載されたメールが自動的に送信されます。演題登録後にメールが届かない場合は、下記の「お問い合わせ」より、その旨を事務局までお知らせください。
5. 演題登録期間中は、何度でも演題の修正・削除が可能です。

6. 演題登録期間内における登録演題の削除のご依頼は、下記の「お問い合わせ」より、その旨を学術局までお知らせください。原則、演題登録締め切り後の演題の取り消しや登録内容の変更はできません。
7. 筆頭演者が発表できない場合は必ず共同演者が発表を行ってください。また、発表者の変更については共同演者のみ可能ですが、いずれの場合においても発表のポイントは、筆頭演者のみとなります（二重発行、両者での分割はできません）。
8. 演題登録にあたっては、共同演者の了解を得た上で応募してください。なお、共同演者も筆頭演者と同等の責任を負うことをご了承ください。
9. 抄録に関する著作権は公益社団法人東京都理学療法士協会に帰属します。

応募演題に関する倫理上の注意

1. ヘルシンキ宣言に沿った報告であることをご確認ください。また厚生労働省の『人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針』などの医学研究に関する指針に従って行うようにしてください。
2. 研究発表の場合は、所属機関等での倫理委員会における承認を得た上で登録してください。なお、抄録および発表資料には、倫理審査委員会の承認を得て研究を実施したことを記述してください。所属機関に倫理審査機関を持たない際は、所属施設以外での倫理審査による承認を得たこと、もしくはヘルシンキ宣言に基づき対象者の保護には十分留意し、説明と同意などの倫理的な配慮を行ったうえで研究を実施したことを記述してください。
3. 症例報告の場合は、必ずしも倫理審査は義務づけられていませんが、所属機関により取り扱いが異なりますので、所属機関の規則に準じてください。
4. 本学術大会では【倫理的配慮、説明と同意】の項目は演題審査の対象となりますので、抄録に記載してください。【倫理的配慮、説明と同意】は所属施設名（例：当院など）が分からないように記載してください。その他の項目中には研究対象にとって不利益となるような属性（人名、施設名等）を記載しない等、個人情報の保護に十分配慮してください。
5. 上記1.～4.の点については、すべて登録者の自己責任であることをご承知ください。
6. 採択された演題は、利益相反（COI）に関する開示をお願いします。なお、抄録本文への記載は不要ですが、演題登録時に、画面の案内に従い必要事項を記載する必要があります。

査読ポリシー

応募された演題は、以下の査読ポリシーの元に査読されます。

1. 査読者の選定と登録

- ① 査読者候補は東京都理学療法士協会員で認定理学療法士または専門理学療法士の資格取得者を中心とし、第43回東京都理学療法学会の準備委員会が選定する。
- ② 査読者としての登録を受諾する者は、受諾手続きの過程で査読可能な細分類を選択する。

2. 応募演題への査読者割り当て

- ① 応募演題1題につき3人の査読者が査読する。
- ② 査読者が演者（筆頭、共同含む）になっている演題および査読者が所属する施設から応募された演題は、当該査読者に割り当てない。

3. 査読内容

- ① 採点：査読者は別に定める基準に従って以下の10項目を5段階順序尺度で採点する。
 1. 新規性・独創性：目的、方法、結果、考察に関して新規性や独創性があるか
 2. 貢献性：理学療法との関連が深く貢献性が高いか
 3. 抄録内容「演題名とキーワード」：簡潔で、説得力があり、読者の目を引くか
 4. 抄録内容「はじめに、目的」(序論)：研究課題に対し、研究の必要性と意義が明確に述べられているか/(症例報告の場合)なぜ症例報告するのかが明記されているか
 5. 抄録内容「方法/評価」：対象は適切か
 6. 抄録内容「方法/評価」：計測・評価は適切か
 7. 抄録内容「方法/介入内容」：統計方法は適切か/(症例報告の場合)介入方法や介入経過はわかりやすく記載されているか
 8. 抄録内容「結果」：客観的な結果(データ)が記載されているか
 9. 抄録内容「考察」：研究目的と考察の一貫性があるか/(症例報告の場合)はじめにと考察に一貫性があるか
 10. 抄録内容「考察/結論」：論理的飛躍がないか
- ② 演題分類の適切性：応募された細分類が適切か否かを判断する。
- ③ 抄録の【倫理的配慮、説明と同意】項目の内容についても査読・審査される。

4. 採否の決定

演題の採否は、発表形式と演題分類を含め事務局の審査を経て、最終的に学術大会長が決定する。

※演題の応募には本査読ポリシーに同意いただく必要があります。同意いただけない場合には演題登録ができませんので注意してください。

演題表彰

すべての一般演題、フレッシュマン演題において、それぞれ最終日に表彰を予定しております。奮ってのご応募をお待ちしております。

演題登録方法

- 本学会ホームページ上および日本理学療法士協会のマイページから演題登録を行ってください。
- 本学会ホームページの『演題登録』からアクセスする場合は、案内に従って登録を進めてください。日本理学療法士協会のマイページから演題登録する場合は、基本情報が自動入力されます。

1. カテゴリー

分類 A	分類 B
1. 一般演題	1. 基礎系
2. フレッシュマン演題	2. 神経系
3. 新人演題	3. 運動器系
	4. 内部障害系
	5. 生活環境支援系
	6. 物理療法系
	7. 教育・管理系
	8. 地域系
	9. その他

2. 文字数制限について（全角文字 1 文字、半角文字 0.5 文字として換算）

演題名：50 文字以内（副題含む）

抄録本文：1,200 文字以内（抄録本文、倫理的配慮含む）

登録可能な最大所属施設数：10 施設まで

登録可能な最大共同演者数：10 名まで

3. 抄録の体裁

抄録本文は以下を参考に構造化してください。小見出しも本文の文字数に含まれます。

研究発表：【はじめに】【目的】【方法】【結果】【考察】【結論】など

症例報告：【はじめに】【症例紹介】【評価】【介入内容と結果】【考察】【結論】など

活動報告：【はじめに】【活動内容】【今後の展望】など

4. 図表は掲載できません

5. キーワード

キーワードは3つとし、標準的な用語を使用して、必ず単語一語で入力してください。

演題登録・確認・修正

一般演題・フレッシュマン演題

<https://academics.japanpt.or.jp/event/abstract/602>

新人演題

<https://academics.japanpt.or.jp/event/abstract/685>

演題登録に関するお問い合わせ

電話および FAX の問い合わせは受け付けておりません。下記のメールアドレスをご利用ください。なお、件名には必ず、演題登録に関する問い合わせであることを明記してください。

第 43 回東京都理学療法学術大会 準備委員会 事務局
43rd.tokyopt.gakujutsu@gmail.com